

全日本一般缶工業団体連合会 第41回定時総会を開催



メルパルク大阪・コムナーレで記念撮影

清水会長・廣瀨副会長・安藤副会長再任

全日本一般缶工業団体連合会は令和元年6月14日、大阪・淀川区宮原のメルパルク大阪で第41回定時総会を開催した。出席者は11人。山田秀雄西日本組合事務局長の司会で進行。廣瀨泰久副会長が開会の辞を述べ、清水雄一郎会長が挨拶したのち議長を務めた。提出議案の「平成30年度事業報告書及び決算関係書類承認の件」「平成31年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件」「全日本一般缶PR

活動推進協議会の件」「担当委員選任の件」は、いずれも原案通り可決承認された。任期満了に伴う「役員改選の件」は、選任制の方法で理事15人、監事2人が選出された。

最後に安藤宏行副会長が閉会の辞を述べ終了した。その後に行った理事会で会長、副会長、専務理事が選任された。新役員は次の通り。

会 長

清水雄一郎(西日本組合理事長・大阪製罐(株)代表取締役社長)

副 会 長

廣瀨泰久(東日本組合理事長・(株)ヒロハマ代表取締役会長)・安藤宏行(中部組合理事長・日東製罐販売(株)代表取締役社長)

専 務 理 事

野口雅春(東日本組合事務局長)

理 事

竹内雅夫(東日本組合副理事長・金方堂松本工業(株)代表取締役社長)・最上裕光(東日本組合副理事長・最上CAN(株)代表取締役)・鳥居 廣(東日本組合常任理事・(株)鳥居製缶顧問)・加島 裕(東日本組合常任理事・江戸川製罐(株)代表取締役)・水戸部伸寿(水戸部製缶(株)代表取

平成31年度事業方針

PR事業では、学校教育と連携して自主制作した「一般缶DVD」の普及推進を図る。展示会でのPRでは、持続可能な社会の実現に向けた環境展「エコプロ2019」に昨年同様に出展し、リサイクルの優等生である一般缶の良さを3Rの面から一般消費者等にアピールする。また、自主制定している「一般缶材質表示マーク使用マニュアル」を全面的に改正し、スチール缶のリサイクル向上に寄与する。さらに、ホームページによる広報では、常時SSL化(https)を設定するとともに、閲覧者が一般缶に関する問い合わせを行いやすいようなシステムを作る。

教育情報事業では、(株)浜野製作所の浜野慶一社長を講師に招き、「下町・町工場からものづくりへの挑戦!」と題する特別講演と参加者による交流パーティーの2部構成で「一般缶イノベーションフォーラム2019」を開催する。

監 事

縮役社長)・志賀正人(東日本組合理事・エヌエス金属工業(株)代表取締役会長)・筒井 久(東日本組合理事・(株)トーカン代表取締役)・馬場康之(西日本組合副理事長・(株)ゼンユー代表取締役会長)・村野光広(西日本組合理事・三国金属工業(株)代表取締役社長)・石川博章(中部組合副理事長・側島製罐(株)代表取締役社長)・松永明人(中部組合副理事長・静岡製罐(有)代表取締役社長)

山本泰則(東日本組合理事・(株)東都製缶代表取締役)・小西康晴(西日本組合副理事長・生野金属(株)代表取締役)

会長就任挨拶



全日本一般缶工業団体連合会

会長 清水雄一郎

平成30年9月12日開催の全日本一般缶工業団体連合会理事会におきまして会長に選任され就任いたしました大阪製罐(株)の清水雄一郎でございます。また令和元年6月12日開催の連合会定時総会・理事会におきまして、任期満了による役員改選で引き続き会長を務めさせていただくことになりました。

諸先輩方もいらっしゃる中で、会長という大任を仰せつかり気の引き締まる思いであるとともに、責任感を持つて職務を全うしたいと考えております。

さて、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催や2025年大阪万博開催の決定など、大きなイベントも控え、明るい雰囲気がありますが、一般缶業界においても近年に比べれば落ち着いた環境のように感じます。ただ、それと同時に相変わらず予断を許さない状況にもあり、前進せずに思考

停止する暇などはないと実感します。販売面を見れば趣向の多様化による商品の少量多品種化や販売チャネルの変化など、また製造面を見れば人材確保難や小ロット生産と省力化など、課題は数多くあります。連合会の隆盛は会員ならびに賛助会員の皆さま各社の事業と直結しています。連合会として皆さまの事業を盛り上げるために何ができるのが大事だと思います。

令和元年6月14日に開催した全国流通委員会・部会協議会では、生野金属の小西社長から「ロボットと協働する環境づくり」について学び、7月5日に開催した「一般缶イノベーションフォーラム2019」では、浜野製作所の浜野社長から「イノベーションのきっかけはどこにあるのか」を学ばせていただきました。

変化の激しい時代を乗り越えるにはやはり「学び」が重要ですし、また、その学びをしっかりと自社の実践につなげていくことがさらに重要だと考えます。その点を踏まえ、質の高い「学びの場」を提供することは、連合会として取り組むべき活動の一つです。共に学び共に実践し、結果として連合会全体が盛り上がり嬉しく思います。

最後になりましたが、連合会会員、賛助会員、特別会員ならびに関係各社の皆さまのさらなるご隆盛を心よりお祈り申し上げます。

連合会理事会報告

全日本一般缶工業団体連合会

会長に清水雄一郎氏
副会長に廣瀨泰久氏

全日本一般缶工業団体連合会は平成30年9月12日、東京・台東区浅草橋の事務所第1回理事会を開き、定村光会長の辞任に伴い西日本一般缶工業協同組合の清水雄一郎理事長（大阪製罐(株)代表取締役社長）が会長に就任した。また、東日本一般缶工業協同組合の廣瀨泰久理事長（株ヒロハマ代表取締役会長）が副会長に就任した。

東日本組合理事会報告

東日本一般缶工業協同組合

理事長に廣瀨泰久氏

東日本一般缶工業協同組合は平成30年9月12日、東京・台東区浅草橋の事務所第2回理事会を開き、定村光理事長の辞任に伴い廣瀨泰久副理事長（株ヒロハマ代表取締役会長）が理事長に就任した。

会員組合通常総会報告

東日本一般缶工業協同組合

理事長に廣瀨泰久氏（再任）
副理事長に竹内雅夫氏（再任）
最上裕光氏（新任）

東日本一般缶工業協同組合は令和元年5月17日、東京・文京区湯島の鉄二健保会館で第41回通常総会を開催した。出席者は委任状を含め34人。竹内雅夫副理事長の司会で進行し、鳥居廣副理事長が開会を宣し、廣瀨泰久理事長が挨拶したのち議長となり議事進行。「平成30年度事業報告書及び決算関係書類承認の件」「平成31年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件」「平成31年度借入金残高の最高限度決定の件」「定款一部変更の件」「専門委員会規約一部変更の件」が上程され、いずれも原案通り可決承認された。任期満了に伴う「役員改選の件」は、指名推薦により理事12人、監事2人が選出された。なお、理事定数の定款変更に伴い、理事の就任日が令和元年5月30日となったことから、令和元年6月12日開催の第2回理事会で理事長、副理事長、常任理事が選出された。最後に水戸部伸寿理事が開会を告げ終

了した。新役員は次の通り。

理事長

廣瀨泰久（再任・株）ヒロハマ代表取締役会長）

副理事長

竹内雅夫（再任・流通・交流委員長・金方堂松本工業(株)代表取締役社長）、最上裕光（新任・人材育成委員長・最上CAN(株)代表取締役）

常任理事

鳥居廣（新任・PR委員長・株）鳥居製缶顧問・加島裕（再任・総会運営委員長・江戸川製罐(株)代表取締役）・水戸部伸寿（新任・水戸部製缶(株)代表取締役社長）

理事

志賀正人（再任・エヌエス金属工業(株)代表取締役会長）・朝倉みどり（再任・株）江東堂高橋製作所取締役）・神宮善太郎（再任・表彰式運営委員長・株）神宮製作所取締役会長）・関根浩二（新任・CPSM会運営委員長・有）須貝金属工業所代表取締役）・山本泰則（再任・株）東都製缶代表取締役）・筒井久（再任・株）景気動向等アンケート運営委員長・株）トーカー代表取締役）

監事

久保田裕美（再任・株）久保田製罐代表取締役）・高田剛（新任・有）高田王冠製作所代表取締役）

理事長就任挨拶

東日本一般缶工業協同組合

理事長 廣瀨 泰久

(株)ヒロハマ 代表取締役会長



平成30年9月12日に東日本一般缶工業協同組合の理事長を拝命し、令和元年6月12日に任期

満了に伴う改選で引き続きその重責を務めさせていたいただいております。一言、就任のご挨拶を申し上げます。

一般缶業界は長きにわたって総需要が減少。それに合わせて組合の方も会員数が減少しており、協同組合としての存在価値を問われていると考えております。

あらためて一般缶組合に求められること、逆に言えば組合で無ければ出来ないこととは何かを見つめ直したとき、次の3点が浮かび上がってきました。

その一は、「一般缶の良さを伝えていくPR活動」。この辺については、当然個別企業において努力されていることは存じますが、業界としても長期的視点で取り組むべき事であると考えます。

その二は、「学びの場の提供」。一般缶製造に関わる技術の継承をはじめとして、次代を担う後継者の皆さまにとっても「学びと気づきのある」一般缶組合でありたいと

思います。

三点目は「情報提供・共有化」です。協同組合は、行政との窓口になっておりますので、支援策を含めて様々な情報が集まる組織です。その機能を十二分に発揮して、皆さまに必要な情報を共有していくことに尽力していきたいと思っております。

協同組合は、基本的に「相互扶助」がそのベースにあるもの。「誰かがエサを与えるように施しをする」という性格のものであります。皆さまの力添えが不可欠であり、同時に一緒になって業界を盛り上げていく醍醐味を、できるだけ多くの皆さまに味わっていただければ幸いです。

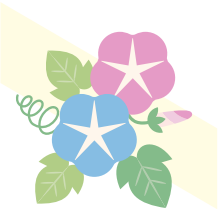
あらためまして、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

経歴

1951年東京都生まれ。1974年慶應義塾大学経済学部卒。株式会社ヒロハマ代表取締役会長。中小企業家同友会全国協議会幹事長。

■東日本一般缶工業協同組合役員歴／1993年5月理事。2003年5月副理事長。2018年9月理事長。

■全日本一般缶工業団体連合会役員歴／2013年6月理事。2018年9月副会長。



副理事長就任挨拶

東日本一般缶工業協同組合

副理事長 最上 裕光

最上CAN(株)代表取締役



令和元年6月12日開催の東日本一般缶工業協同組合の理事会におきまして副理事長に就任い

たしました最上CAN(株)の最上裕光と申します。微力ではありますが、組合活動に貢献できるよう頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

昨今の中小企業、とりわけ私たち製缶業界をとりまく環境は少子高齢化社会の中で人手不足や市場の縮小などにより厳しさを増しています。さらには原材料、副資材、輸送費の高騰などの影響で企業収益が圧迫されるなど、問題が山積しております。

一方で、一般缶はお客さまのニーズに合わせた多様な容器を作れるという大きな優位性があるとともに、地球環境にやさしい容器として、これからの社会にますます必要性が高まるものと期待しています。

このような中、廣瀨理事長を中心として組合としての力と英知を結集し、業界として明るい未来へつながるよう皆さまと共に考えていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

経歴

1961年東京都生まれ。1980年最上製缶(有)(現最上CAN(株))入社。1996年8月同社代表取締役。

■東日本一般缶工業協同組合役員歴／2005年5月理事。2013年5月常任理事・流通委員長。2019年6月副理事長・人材育成委員長。

■全日本一般缶工業団体連合会役員歴／2009年6月監事。2015年6月理事。

西日本一般缶工業協同組合

理事長に清水雄一郎氏(再任)
副理事長に小西康晴氏(再任)
馬場康之氏(再任)

西日本一般缶工業協同組合は令和元年5月23日、大阪市北区のANACPホテルで第51期通常総会を開催した。出席者は委任状を含め21人。清水雄一郎理事長が議長に選任され、議事進行。「平成30年度事業並びに決算報告書の承認の件」「2019年度予算案並びに事業計画承認の件」は、いずれも原案通り可決承認された。任期満了に伴う「役員改選の件」は、連記式無記名投票で理事9人、監事2人が選出された。馬場康之副理事長の閉会の辞で終了した。総会後の理事会で役付理事が選任された。新役員は次の通り。

理事長

清水雄一郎(再任・大阪製罐(株)代表取締役社長)

副理事長

小西康晴(再任・生野金属(株)代表取締役・馬場康之(再任・(株)ゼンユー代表取締役会長)

理事

渡邊静雄(再任・江戸川製罐工業(株)代表取締役)・岩橋徹(再任・(株)ライトハウス金属工場代表取締役)・下宮正裕(再任・下宮金属工業(株)代表取締役)・渋谷眞理子(再任・明和金属工業(株)代表取締役)・村野光広(新任・三国金属工業(株)代表取締役社長)・有山健一(新任・エース精器(株)専務取締役)

監事

中山裕文(再任・中山製缶(株)代表取締役社長)・山本浩之(再任・山雄製缶工業(株)代表取締役)

中部製罐工業協同組合

理事長に安藤宏行氏(再任)
副理事長に石川博章氏(再任)
松永明人氏(新任)

中部製罐工業協同組合は令和元年5月17日、名古屋市中村区のOKB Harmony名駅で第69回通常総会を開催した。出席者は委任状を含め7人。事務局が開会を宣し、安藤宏行理事長が挨拶したのち議長となり議事進行。「平成30年度事業報告書、決算関係書類承認の件」「令和元年度事業計画及び収支予算承認の件」「定款一部変更の

件」はいずれも原案通り可決承認された。「任期満了に伴う役員選挙に関する件」は、指名推薦により理事6人、監事1人が選任された。最後に松永明人理事が閉会を告げ終了した。総会後の理事会で役付理事が選任された。新役員は次の通り。

理事長

安藤宏行(再任・日東製罐販売(株)代表取締役社長)

副理事長

石川博章(再任・側島製罐(株)代表取締役社長)・松永明人(新任・静岡製罐(有)代表取締役社長)

理事

池田祥三(再任・興和製缶(株)代表取締役社長)・中川泰(再任・センタープレス(株)代表取締役)・近藤正臣(再任・ライトハウス名古屋金属工場代表)

監事

田中耕太郎(再任・(株)銅辰製作所代表取締役社長)

副理事長就任挨拶

中部製罐工業協同組合

副理事長 松永明人

静岡製罐(有)代表取締役社長

このたび、中部製罐工業協同組合副理事長に選任され就任いたしました松永明人と申します。

2017年7月より静岡製罐(有)の代表取



締役社長をしております。弊社は茶缶一筋にて茶業界の皆さまと共に76年余り歩んできた会社

です。2000年前後より弊社の主力販売先の茶業界でも、一般消費者の生活様式と消費構造が急速に変化し、その早さになかなか付いていけない厳しい状況が続いており改善改革を模索しておりました。

そうした中、側島製罐(株)石川博章社長様からお誘いをいただき中部製罐工業協同組合に加入させていただきました。それから早18年間、組合員の方々と賛助会員の皆さまより様々な情報とご指導をいただき改めて感謝申し上げます。

また、このたびは副理事長という大役を仰せつかり、微力ながら組合の発展に貢献できるよう努力させていただきますので、皆さまのご協力とご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

経歴

1957年9月生まれ。1978年3月東海大学短期大学部卒。1985年5月静岡製罐(有)入社。2008年2月取締役営業部長。2010年3月常務取締役。2017年7月代表取締役社長。

■中部製罐協同組合役員歴／2009年5月理事。2019年5月副理事長。

■全日本一般缶工業団体連合会役員歴／2019年6月理事

「下町・町工場からものづくりへの挑戦！」をテーマに

全日本一般缶工業団体連合会は令和元年7月5日、東京・港区の浜松町東京會館で「一般缶イノベーション・シヨンプォーラム2019」を開催し、会員会社など119人が参加した。最上裕光運営委員長が第1部の司会を務め、主催者を



熱心に耳を傾ける参加の皆さん



主催者挨拶をする清水会長

代表し清水雄一郎会長が「自社に置き換え、自分事として考えながら講演を聞いていただきたい。自分には関係ないと思うと何も入ってこないで、これから話される取組を自社に持ち帰って何かの行動につなげていただきたい」と挨拶した。第1部は(株)浜野製作所代表取締役CEOの浜野慶一氏が「下町・町工場からものづくりへの挑戦！」と題する特別講演を行った。続く第2部の交流パーティーでは小西康晴運営副委員長が開会の挨拶を述べたあと、来賓を代表し経済産業省製造産業局金属課課長補佐の篠原康人氏が「この5月に元号が改まり新たな時代がスタートした。本フォォーラムのテーマである『イノベーション』は新たな価値創造という、今求められているテーマでもある。政府としては設備投資の強化とAI・IoT・ロボットなどの技術を活用しながら生産性の向上を図り、深刻な人手不足問題に対応していく。従来の産業の枠を超えたビジネスモデルで抜本的な

生産性の向上を図り、新たな価値創造に向けた対応が求められる。一般缶業界の需要環境は中元、歳暮といった贈答習慣の薄れや他素材へのシフトなどの影響で非常に厳しいと認識している。しかしながら、昨年度の関係業界からの話からすると紙素材へのシフトは一巡したと思われる。また相次いだ自然災害やテーマパークによる大規模なイベントなども一定の需要があったようだ。今年度も改元やスポーツイベントなどの特需に期待している。一方で皆さまの収益構造を圧迫する要因として物流費、印刷費、原材料費の値上がりなどで受発注のゆがみが出ている。こうした目の前の課題に



交流パーティーで乾杯前に挨拶をする岸本ブリキ国内室長



交流パーティーで挨拶をする篠原課長補佐

ついて皆さまとコミュニケーションをとりたい」と挨拶しながらしっかり対応していきたい」と挨拶した。続いて乾杯の発声に立った日本製鉄(株)薄板事業部ブリキ営業部ブリキ国内室の岸本幹生室長が「年初は『変化の年』『先行き不透明な年』と言われたが、今はそれ以上に変化が激しく想定を超える事が起こり、厳しい局面を迎えている。講演で浜野社長が『地に足をつけず果敢に挑戦したい』と言った。まさしくこういう気持ちが必要だと思う。我々に対してフォォローアップも吹いているようで、この風をいかにつかまえて皆さんと一緒に前進していくかを考えながら果敢に挑戦したい」と挨拶した。歓談のあと廣瀨泰久副会長が「浜野社長の講演の中で『ビジネスの原点』と感じたことが1つある。それは、浜野社長が車いすに乗った女の子にパイプを作ったとき、ビジネスで初めてその女の子から『ありがとう』と言われた場面である。我々の一般缶業界でもお客さんから直接『ありがとう』と言われることはないと思う。このようなたくさんの『ありがとう』が我々の仕事の先にはあるのだということに自分たちは誇りを持たなければいけないと思われ、誇りを持つにふさわしい自分ではないといけないと改めて感じさせていただいた」と中締め挨拶を行い散会した。



交流パーティーで中締め挨拶をする廣瀨副会長

特別講演プロローグ

弊社のある墨田区の特徴

弊社は東京・墨田区で小さな工場を持って金属加工をしている会社。墨田区の産業は多種多様な業種がバランスよく集積しているというのが一つの特徴。高度経済成長時には約1万社弱あった町工場は現在では1900社程度と最盛期の5分の1に減った。全工場の8割が従業員5人以下、そのうちの半数は3人以下で、中小企業というより零細な家族経営の工場が大半を占める。また墨田区には工業団地が一切ない。



弊社の沿革

弊社は創立が昭和53年9月、今期で42期目を迎え、平たく言うと板金屋・プレス屋・金属加工屋。創業者は父の浜野嘉彦で私は2代目。現在の従業員は53人、業務範囲は設計・開発、精密板金、レーザー加工、架台・筐体設計製作、機械加工、金属プレス加工、金属プレス金型製作、各種アッセンブリ、ラピッドプロトタイプング（3Dスキャナー・3Dプリンター・レーザーカッター・CNC加工・UVプリンター）。



父は福井県南越前町という日本海側に面した小さな漁村出身で、親戚の知り合いを頼って大田区の町工場で金型プレス職人を

やっていた。母は墨田区の出身で父と結婚し、母の実家の近くの土間付き一軒家の貸工場で浜野製作所を立ち上げ金属小物のプレス加工をするための金型屋を始めたのがスタート。その後、お客様からの依頼でプレス加工も行っていた。当時はこれだけ良かったが、我々を取り巻く時代や環境が変わってきて、大量生産品は海外へ生産拠点が移っていく、コストも厳しくなり、2000年過ぎ頃から、あえて量産の仕事も残しながら、少量多品種向けの金型を使わない部品加工サービスである精密板金を始めた。さらに時代はITインフラやデリバリーインフラが国内中に整備され始め、目に見えない競合相手がたくさん出てきて板金加工だけではやっていけなくなってきたこともあり、今は装置開発や設計開発なども手掛ける。

弊社の経営理念

「おもてなしの心」を常に持つてお客様・スタッフ・地域に感謝・還元し、夢（自己実現）と希望と誇りを持った活力ある企業を目指そう！」

これが会社の経営理念。感謝・還元というのがキーワードであり、「安定した生活の基盤をつくる場・スタッフの人生が輝ける場・充実した人生が送れる場・自分自身が成長できる場としての浜野製作所であり

続けたい」

このような会社を目指し、経営者を筆頭に従業員・スタッフが日頃の仕事の中心で心がけていこうというのが次の行動指針である。

弊社の行動指針

1. 速い事 ↓ 何事においても「後でやろう！」「時間が出来てからやろう！」ではNG。良いと思った事・言われた事は即時実行の事。
2. 行動に移す事 ↓ いくら良い考えがあっても行動に起こさなければやっていけないのと同じ。例え失敗しても良いのでやってみる事。一番ダメなのは議論だけして「やっている気」になってしまっている事。これでは何も変わらないし、何も生まれない。
3. 努力・工夫をする事 ↓ 自分の心と頭で考え常に「これが最良か？」と創意工夫をする事。そしてこれを習慣づける事。
4. 協力する事 ↓ スタッフ同士で協力をし合い相手の気持ちになって助け合う事。自分だけ良ければ…そんなやつとは一緒に働かない。
5. 継続していく事 ↓ 上記4項目を一時的の事だけでなく継続していく事。

隣家の火事で工場が全焼し
経営危機に

昭和53年に浜野製作所がスタートしてから幾年の歳月が流れ、私が31歳の頃に創業者の父が病気で亡くなった。その時、私は別の会社で働いていたが戻り家業を引き継いだのが社長業のスタートになった。創業以来、母が現場や経理のことをやっていたので、母から教えてもらいながら仕事をした。その2年後に母が病気で他界した。それから4年後、今から19年前のことですが、



休憩なしで熱弁をふるう浜野社長

トからヨレヨレの名刺を差し出し名前を名乗り「多分あの火の勢いだと私の工場が全焼してしまうので、すぐに貸工場を探してもらえないか」とお願いした。そもそも墨田区は自宅と工場が一緒なので貸工場が少なく、なかなか見つからなかった。2時間くらい経ってから、ある大家さんに電話がつながって、その大家さんの自宅の隣に空き工場があると紹介してくれた。「ここから自転車で10分くらいのところだから」と言って私を自転車の荷台に乗せ、連れて行った。

両親が命を懸けて私に譲ってくれた工場が隣からのもらい火で全焼した。朝の10時半頃、「火事だ、火事だ」という大きな声が上がったので、自宅兼工場の外に出ると、隣の民家から火が上がリ、うちのほうに燃え移ってきた。当時従業員は私の他に一人しかいなかった。周りから「逃げる、避難しろ」という、大きな声が上がったので避難した。状況は隣から火が燃え移ってきている。その時、私はここにいる場合ではないと思う、近くの小さな不動産屋に駆け込んだところ、その社長さんもあの火事騒動で興奮されていた。私は作業着のポケット

てくれた。お会いしたのは70歳くらいの女性の大家さんでした。お金もハンコも持たなくて名刺を差し出し、挨拶しただけなのにその大家さんは「あなた、お困りでしょう。すぐにお使いなさい」と貸工場の鍵を貸してくれた。昼過ぎの1時半頃だったので「あなたお昼ごはん食べたの？」ときき「うちは10年前火事に遭ったの。その時は主人(社長)もいて、皮のなめし工場をしていたが、火事で会社が大変になった。社長は寝る間も惜しんでがんばった結果、会社は元通りになったが、その時の無理がたたって3年前亡くなった。後継者もいないし工場も閉じたのでお使いなさい。私ね、

特別講演ハイライト ②

部品加工から
装置開発への挑戦

会社にホームページがなかった当時、インターネットで来た人の協力でホームページができた。そこに「お問い合わせ

なぜあの時主人の首に縄を付けてでも、ご飯をきちんと食べさせなかったのか、今でも後悔している。あなたは社長さんでしょ。無理しすぎて体にもしものことがあったら悲しむ人がたくさんいるんだから、ごはんを食べて元気出して一所懸命がんばりなさい」と大家さんが言ってくれた。

浜野製作所が一番大変な時に不動産屋さん、工場の大家さんを含め地域の方々に背中を押していただいたので、常日頃から感謝の思いをもって、この地域で仕事をさせていただいている。いつしかこの地域に還元ができるような会社となり、夢と希望と誇りをもった活力ある企業になることがお世話になった方々への最大の恩返しであり、浜野製作所のあるべき会社の姿であると思っている。

この出来事を教訓に、その3年後に私が成文化して作ったのが弊社の経営理念なのです。

フォーム」を作り新規取引につなげようとした。ある時、個人の方からパイプ加工の依頼があった。「自分と妻と5歳の娘の3人家族だが、1週間後6歳になる娘の誕生日プレゼントにパイプ加工した車いすをプレゼントしたい」という話であった。「一人娘で週末に公園や土手に手をつないで散

歩に行くのが僕の生きがいであったが、1年ほど前に目を離したすぎに娘がボールを追いかけて公園から飛び出したところ車にひかれてしまった。一命は取り留めたが車いすの生活になってしまった」という。以来「パパのせいでごめんね」と娘さんに言い続けたことで性格が暗くなり、わがままになったそうだ。ある時「パパ、もう公園や土手に行くのはいやだ」と言ったので訳を聞くと「一緒に遊んでいた友達が駆けずり回っているのに自分は車いすなのでいやになった」。このことがきっかけで娘さんをふびんに思い自分からモノを買い与えるようになったという。「私が死ぬまでに一回、娘と手をつないで散歩したい」。ある病院の整形外科の先生から「リハビリの具合によつては、娘さんはまだ骨が小さくて固まっていけないので、トレーニングすれば歩けるようになるかもしれない」と言われた。自分で歩こうという気持ちを作り、それには家族で支えることが必要なので、家での簡単なリハビリを勧められた。そこでお父さんは「娘が使っている介護用のベッドをリハビリに使えるように改造したらどうか」とリハビリの先生に話したら「それはすごくいいアイデアだね」と言ってくれたので「それを娘の誕生日にプレゼントして、もう一度二人で手をつないで散歩できるように、また娘の性格も元の明るい女の子に戻れるようにしたい」という。それで

最初に買ったベッドメーカーに改造の相談をしたところ、たらい回しにされたあげく、その改造は受け付けできないと断られたので、ホームページを慌てて探したら浜野製作所が出てきて問い合わせのメッセージを入れたという。当時は仕事がみんな詰まっていたので自分が受けた。でも実際に作ってもらうのは現場だから、職人のみんなに相談したら「社長やりましたよ」と笑顔でやってくれた。なんとか誕生日の前日に届けることができた。誕生日の翌日、お父さんから浜野製作所の皆様へとメールが入った。「娘からは大きなおままだとセットが欲しいとリクエストされたが、それをやめて自分の気持ちを伝えた。実は前日に『改造した車いすが6歳の誕生日プレゼントだよと娘に言ったら、こんなのプレゼントじゃない。パパは大きなおままだとセットをくれるって言ったじゃない。もうリハビリなんかやらない。歩けなくていい。ずっと車いすの生活でいい。こんな車いすなんていらないとその車いすをひっくり返された』夢を見たという。誕生日パーティーの当日、最初にお父さんやおじいちゃんたちが、最後にお父さんがプレゼントをあげる段取りになっていたらしい。自分も勇気を振り絞って娘に自分の思いを伝えてから「これが今年の誕生日プレゼントだよ」と娘さんに渡した。娘さんは大きな瞳に涙をいっぱいためて「パパありがとう、パパ本

当にありがとう」と言っていて車いすからお父さんに抱きついてくれたそうです。最後に「浜野製作所の皆さん、本当にありがとうございました」とつぶやかれたメールでした。私たち、モノを作って「ありがとう」と言ってももらったのはこれが初めてでし

た。小さな町工場でも娘さんの未来とか、お父さんの願いをつなげられるような仕事ができるのだと強く感じた。実を言うとその車いすの女の子との出会いが装置開発をする大きなきっかけになったのです。

講師プロフィール

はまの けいいち 浜野 慶一 氏

(株)浜野製作所代表取締役CEO

1962年東京都墨田区生まれ。1985年東海大学政治経済学部経営学科卒。同年都内板橋区の精密板金加工メーカーに就職。1993年創業者浜野嘉彦氏の死去に伴い、(株)浜野製作所代表取締役就任、現在に至る。「おもてなしの心」を経営理念とし、設計・開発から多品種少量の精密板金加工、金型設計・製作、量産プレス加工、装置・機器の組立まで、幅広い業界業種の課題をサポート・解決している。また、電気自動車「HOKUSAI」、深海探査艇「江戸っ子1号」をはじめとする産学官連携事業や、ものづくり支援工房「Garage Sumida」を通じた多数のベンチャー企業、大学・研究機関の開発支援を推進している。そのユニークな経営スタイルは「新たな先端都市型のものづくり」として、国内外から大きな注目を集めている。昨年6月には明仁上皇が浜野製作所の工場などをご視察された。

- 経済産業省・文部科学省の産学人材育成パートナーシップ経営管理人材分科会委員
- 経済産業省・産学連携人材育成事業（起業家人材育成事業）大学・大学院起業家
- 経済産業省 第4次産業革命（インダストリー4）RRI AG委員
- 経済産業省「特定ものづくり基盤技術高度化指針見直し検討委員会」委員
- 経済産業省「知識サポート・経営改革プラットフォーム研究会」委員
- 経済産業省・関東経済産業局 東京オリンピック・パラリンピック検討会委員
- 小池東京都知事座長 東京の中小企業振興を考える有識者会議委員
- 深海探査ロボット艇開発プロジェクト「江戸っ子1号プロジェクト推進委員会」副委員長
- 全国工業高等学校長協会 運営連絡協議会委員
- 東京商工会議所墨田支部副会長・地域活性化委員会委員長
- Small Makers Show（中小企業都市サミット併設事業）実行委員会会長
- 墨田区環境審議会委員
- 墨田区観光協会理事
- 東京東信用金庫主催の若手経営者塾「ラパン」塾顧問
- 全国中小製造業ネットワーク「Monozukulink.net」副会長
- 東京中小企業家同友会顧問
- 社団法人配財プロジェクト代表理事

第43回全国流通委員会・部会協議会を開催

全日本一般缶工業団体連合会は令和元年6月14日、大阪・淀川区宮原のメルパルク大阪で第43回全国流通委員会・部会協議会を開催した。今回は西日本組合の当番で東日本組合、西日本組合、中部組合から30人が出席した。

全体会議では、中部組合の安藤宏行理事長、東日本組合の廣瀨泰久理事長、西日本組合の清水雄一郎理事長の順に近況報告が行われた。次いで全日本一般缶PR活動推進協議会の廣瀨委員長から活動報告があった。

続いて、講演会に移り、講師の生野金属(株)小西康晴社長が「ロボット」について講演した。

このあと、総合グループ討議に入り、4グループごとに①一般缶材質表示マークの使用マニュアル改正案 ②一般缶のPRへの取組について活

発な討議が行われた。最後にAグループ長の大阪製罐(株)石橋寿恵夫氏、Bグループ長のマキノ製缶(株)牧野亮太氏、Cグループ長の(株)ライトハウス金属工場辻本年克氏、Dグループ長の最上CAN(株)最上裕光氏がそれぞれ討議報告を行った。



真剣にグループ討議をする参加者

西日本一般缶工業協同組合 新日鐵住金(現日本製鉄)(株) 広畑製鐵所見学会を実施

熱延工場での鉄の製造工程に圧倒される

西日本一般缶工業協同組合 山田 秀雄

西日本一般缶工業協同組合は平成31年2月27日、兵庫県姫路市に所在する新日鐵住金(現日本製鉄)(株)広畑製鐵所の工場見学会を実施し、組合員・賛助会員合わせて17社35人が参加しました。

一行はJR大阪駅ハービス前に集合し、午前9時30分に出発しました。広畑製鐵所に到着後、所内で工場見学会にあたっての注意事項を伺ってから工場内を見学しました。見学の順路は「熱延工場」↓「酸洗、冷延」↓「表面処理メッキ工場他」↓「危険体感研修」。

熱延工場では、連続して加熱されたスラブが連続熱間圧延機で押し伸ばされコイル状になる製造工程で圧倒されました。

なかなか見ることのない迫力ある光景から出上来がってくる鋼板を直で見て、ものづくりの原点を感じました。

その他、酸洗、冷延↓表面処理メッキ工場他の工程で、技術の結集によって、ブリキの製品が出来上がっていく状態を間近で見て認識をあらたにしました。

組合員の会社等が使用するブリキ原板がこのように出上来がくることを再認識しました。

製造工程での見学の他では、最後に「危険体感デモ」を体験できる施設で、作業従事者の危険認識力の体感向上を目的として、工場に係る関係会社や工事従事者も含めてこの研修を受けることが必

須としています。このように、安全に対する取組と安全意識の向上で、絶対に事故を未然に防止する姿勢が十分に行き渡っていると感じました。

工場内の見学終了後、工場関係者との質疑応答で、多くの時間を割いていただき、多数の質問に答えていただきました。

工場見学会で、製造・技術・安全等における知識を学び、より一層の向上を図っていくことは、大変有意義と思っております。

今回、ご対応頂きました新日鐵住金(株)広畑製鐵所の担当者皆さまには、深く感謝いたしますとともに、御礼申し上げます。



広畑製鐵所玄関前で記念写真

優良従業員8人が理事長表彰を受賞 受賞者の声「日々努力して会社に貢献したい」

東日本一般缶工業協同組合は平成31年1月30日、東京・中央区日本橋浜町の明治座で第39回優良従業員表彰式を開催した。表彰式は組合創立以来毎年実施している。今年は組合員各社から推薦された8人が受賞した。

来賓として関東経済産業局産業部の五十嵐担当次長と東京都中小企業団体中央会の橋北隆総務課長が出席した。

表彰式は神宮善太郎運営委員長の司会で進行。竹内雅夫副理事長が開会の辞を述べたあと、挨拶に立った廣瀨泰久理事長は「受賞の皆さまには心より『おめでとう』と申し上げたい。ひとり一人が使命感を持って仕事をされ、業界を支えていただいている。ますますのご活躍をお祈りする」と感謝の言葉を添えた。

続いて同理事長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が渡された。受賞者を代表し金方堂松本工業(株)購買部係長の亀山弘樹氏が謝辞を述べた。このあと関東経済産業局の五十嵐担当次長、東京中央会の橋北隆総務

課長から祝辞があった。水戸部伸寿理事が閉会の辞を述べ、記念撮影ののち表彰式は終了。休憩のあと受賞者は明治座「前川清特別公演」を楽しんだ。また、受賞者からは異口同音に「日々努力を重ね会社に貢献していきたい」と受賞後の感想が寄せられた。

受賞者は以下の通り(敬称略)。

森川麻子(金方堂松本工業(株))、小森由香(同社)、亀山弘樹(同社)、尾田三代子(株)トーカーン、杉江久美子(株)ヒロハマ、渡名喜則和(同社)、桐生正和(同社)、星野佳誉(水戸部製缶(株))



会場で記念写真
前列右から4人目が関東経済産業局五十嵐担当次長、同2人目が東京都中央会橋北総務課長

東日本一般缶工業協同組合

教育講習会「販路開拓の進め方」を開催



小川先生から販路開拓の極意を学ぶ

東日本一般缶工業協同組合は平成31年2月22日、東京・墨田区吾妻橋のすみだビジネスサポートセンターで教育講習会「販路開拓の進め方」を開催した。この講習会は同センターのオンデマンド制度を活用して同組合の教育組織委員会(委員長・加島裕江戸川製罐(株)社長)が企画し、6社13人が受講した。松村明宗副委員長の司会で進行し、加島委員長が開講の挨拶を行った。担当講師は同センターのビジネスコーディネーターで中小企業診断士の小川良佳氏。受講者は小川氏から①中小企業、小規模事業者の販路開拓の重要性②販路開拓の進め方のポイント③販路開拓の施策の紹介と活用例について説明を受け、販路開拓に必要な実践的手法を学んだ。

ホームページとリーフレット による広報を充実強化

このほど、全日本一般缶工業団体連合会はホームページとリーフレットによる広報を充実強化した。

ホームページによる広報では、個人情報第三者により盗聴・改ざんされないようにするため、常時SSL化(https)を設定した。さらに閲覧者が問い合わせの際に必要な事項を入力する専用のフォームに写真データなどを添付できるよう新たに設定した。

また、一般缶リーフレットは需要家や一般消費者の目線に合わせて、より一層「一般缶」を理解できるよう内容とデザインを一新した。



平成30年12月～令和元年5月までの 一般缶生産出荷実績

(単位:t)

	年月	生産	出荷		在庫
			販売	その他	
経済産業省データ	30.12	5,341 (5,284)	5,267 (5,981)	33 (59)	7,697 (9,338)
	31.1	4,838 (4,628)	4,285 (5,120)	42 (44)	8,192 (8,824)
	2	4,910 (4,774)	4,474 (5,408)	46 (48)	8,570 (8,120)
	3	5,365 (5,045)	5,339 (5,576)	11 (51)	8,592 (7,572)
	4	5,359 (4,938)	5,780 (4,717)	32 (65)	8,144 (7,741)
	1.5	4,818 (4,958)	5,078 (5,339)	9 (35)	7,880 (7,327)
連合会データ	30.12	3,700 (4,001)	3,869 (4,090)		6,226 (5,936)
	31.1	2,984 (3,242)	2,893 (3,206)		6,245 (5,891)
	2	3,228 (3,291)	3,146 (3,288)		6,404 (5,807)
	3	3,485 (3,375)	3,323 (3,489)		6,457 (5,892)
	4	3,381 (3,524)	3,303 (3,484)		6,721 (5,892)
	1.5	3,256 (3,374)	3,080 (3,306)		6,721 (5,995)

()内は前年同月実績
経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載

合同部会を開催

西日本一般缶工業協同組合

西日本一般缶工業協同組合は令和元年6月7日、大阪・天王寺区石ヶ辻町のホテルアウイーナ大阪で合同部会を開催した。出席者は8人。内容は以下の通り。

① 鋼材動向等に関する情報交換及び近況報告

☆昨年からの鋼材値上げが一段落したが、副資材に係る運賃、ダンボール等の値上げ要請が顕著である。
☆各社の全体的な売上については、ほぼ横ばいに推移していて、おおむね良好と思われる。

② 各社からの意見交換

☆2つの討議事項①一般缶表示マークの使用マニュアル改正案等について②一般缶のPRへの取組・何をすべきかについて事前の打合せを行った。

④ その他(行事日程等)

☆年内の行事予定を連絡

③ 全国流通委員会・部会協議会(6月14日開催)の討議事項の事前打合せ

☆ポリ製品での環境問題について、いろいろな意見があった。
☆工場関係でのパート、派遣等の人員確保について、各社対応に苦慮している。種々の方法で対応を模索している。

今年もエコプロ2019に出展します

令和元年12月5日(木)～7日(土)
東京ビッグサイト西・南ホール

エコプロ2019は環境への関心の高い一般消費者やビジネスパーソン、行政・自治体など環境を取り巻く多様なステークホルダーが一堂に集う、アジアを代表する環境の総合展示会です。21回目となる今回のテーマは「持続可能な社会の実現に向けて」。

全日本一般缶工業団体連合会は昨年引き続きスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展し、エコの優等生である一般缶を広くPRします。



昨年のエコプロ出展ブースの様子



全日本一般缶工業団体連合会
 会長 清水雄一郎
 東京都台東区浅草橋五丁目四一五
 電話 〇三(五八〇九三)一三六
 FAX 〇三(三八六四〇)九一一

江戸川製罐株式会社
 代表取締役 加島 裕
 東京都江戸川区平井五丁目四六一九
 電話 〇三(三六一二)四一三一
 FAX 〇三(三六一七)五〇三四

生野金属株式会社
 代表取締役 小西康晴
 大阪府高石市高砂三丁目二四
 電話 〇七(二二六八)〇七七七
 FAX 〇七(二二六八)〇七八二

光工業株式会社
 代表取締役社長 吉田富美男
 広島県東広島市志和町冠
 電話 〇八(四三三)五四〇一
 FAX 〇八(四三三)五四五三

日本製鉄株式会社
 代表取締役社長 橋本英二
 東京都千代田区丸の内二丁目一
 電話 〇三(六八六七)四一一一

東日本一般缶工業協同組合
 理事長 廣濱泰久
 東京都台東区浅草橋五丁目四一五
 電話 〇三(五八〇九三)一三六
 FAX 〇三(三八六四〇)九一一

工又工金属工業株式会社
 代表取締役社長 中田則彦
 茨城県つくば市緑ヶ原四一六
 電話 〇二九(八四七)七二二〇
 FAX 〇二九(八四七)六七七九

株式会社ゼンユー
 代表取締役社長 砂川秀樹
 大阪府大阪市淀川区加島
 電話 〇六(六三〇九)四〇三二
 FAX 〇六(六三〇二)二一〇〇

日西製罐株式会社
 代表取締役 矢谷満里子
 大阪府大東市御領三丁目一
 電話 〇七(二八七四)〇九七一
 FAX 〇七(二八七五)四二五二

JFEスチール株式会社
 代表取締役社長 北野嘉久
 東京都千代田区内幸町二丁目一三
 電話 〇三(三五九七)三一一一

西日本一般缶工業協同組合
 理事長 清水雄一郎
 大阪府大阪市北区天神橋二丁目一七
 電話 〇六(六三三三)一九七三
 FAX 〇六(六三三三)一九六七

株式会社神宮製作所
 代表取締役 神宮芳次郎
 千葉県野田市上三ヶ尾二六一
 電話 〇四(七二五)二二六一
 FAX 〇四(七二五)三三三七

江戸川製罐工業株式会社
 代表取締役 渡邊静雄
 大阪府大阪市鶴見区今津北
 電話 〇六(六九六八)六七六一
 FAX 〇六(六九六二)三二五八

三国金属工業株式会社
 代表取締役社長 村野光広
 大阪府豊中市豊南町西四丁目一〇
 電話 〇六(六三三三)〇二五一
 FAX 〇六(六三三四)〇二五五

東洋鋼板株式会社
 代表取締役社長 田辺敏幸
 東京都品川区東五反田二丁目一八一
 電話 〇三(四五三三)六八六〇
 FAX 〇三(三二八〇)八一六〇

中部製罐工業協同組合
 理事長 安藤宏行
 愛知県瀬戸市安戸町一三一八
 電話 〇五六(八四)四八五八
 FAX 〇五六(八四)四八五八

杉浦製罐株式会社
 代表取締役 杉浦由記夫
 茨城県守谷市百合ヶ丘
 電話 〇二九(七四八)二五五一
 FAX 〇二九(七四八)二五五二

奥村製罐株式会社
 代表取締役 奥村清司
 京都府綴喜郡井手町大字多賀
 電話 〇七七(八二二)〇七八
 FAX 〇七七(八二二)四三二四

明和金属工業株式会社
 代表取締役 渋谷眞理子
 大阪府高石市取石七丁目一六
 電話 〇七(二二七四)二二〇一
 FAX 〇七(二二七四)六三六五

全日本金属印刷工業協同組合連合会
 会長 中田正和
 東京都墨田区業平一丁目一六
 電話 〇三(三六二六)二四一
 FAX 〇三(三六二六)二五〇二

株式会社ヒロハマ
 代表取締役社長 廣濱庄一郎
 東京都墨田区石原二丁目一八一
 電話 〇三(三六二五)二六八〇
 FAX 〇三(三六二五)二六八八

水戸部製缶株式会社
 代表取締役社長 水戸部伸寿
 東京都千代田区神田和泉町
 電話 〇三(三八六六)二一六六
 FAX 〇三(三八六六)二三八八

下宮金属工業株式会社
 代表取締役 下宮正裕
 大阪府堺市堺区南島町三丁目一三一
 電話 〇七(二二二三)八一二〇
 FAX 〇七(二二二三)八一四〇

山雄製缶工業株式会社
 代表取締役 山本浩之
 大阪府大阪市北区大淀中
 電話 〇六(六四五)五一四一
 FAX 〇六(六四五)〇八二一

東京都磁力地金商業協同組合
 理事長 松苗昭文
 東京都中央区日本橋大伝馬町一丁目七
 電話 〇三(三六六三)八三五七
 FAX 〇三(三六六三)八三五八

金方堂松本工業株式会社
 代表取締役社長 竹内雅夫
 東京都台東区東上野一丁目二八一二
 電話 〇三(三八三三)一一九一
 FAX 〇三(三八三三)七一四四

大阪製罐株式会社
 代表取締役社長 清水雄一郎
 大阪府東大阪市岩田町二丁目二八
 電話 〇六(六七二)五五四五
 FAX 〇六(六七二)五三四七〇

新高垣製缶株式会社
 代表取締役 高垣悦夫
 奈良県天理市永原町五五
 電話 〇七(四三三)六一三一
 FAX 〇七(四三三)六一三一

有限会社山野初製缶所
 代表取締役 木下光美
 大阪府八尾市太田七丁目一〇
 電話 〇七(二九四八)〇五五八
 FAX 〇七(二九四八)二八五五



明邦鋼業株式会社
代表取締役社長 窪島孝行
埼玉県越谷市新川町一―一四五
電話 〇四八(九八七)〇七〇一
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

富安金属印刷株式会社
代表取締役社長 菊井 治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二五)二五八一
FAX 〇四八(九二八)二六二〇

松本金属工業株式会社
代表取締役 松本勝俊
大阪府大阪市北区天満二―二一八
電話 〇六(六三三)〇九四一
FAX 〇六(六三三)九四四九

西部容器株式会社
代表取締役 川島大吾
大阪府摂津市別府二―三一―一八
電話 〇六(六三四九)一六五一
FAX 〇六(六三四九)七二二八

株式会社 ライトハウス金属工場
代表取締役 岩橋 徹
大阪府大阪市鶴見区今津中
電話 〇六(六九六)三〇四四一
FAX 〇六(六九六)二二九八

スチールリーフ株式会社
代表取締役社長 茂木孝之
東京都葛飾区亀有五―四八―一五
電話 〇三(三六二)八〇三〇
FAX 〇三(三六二)八〇六〇

二橋プリント株式会社
代表取締役 二橋英之
埼玉県三郷市彦川戸一―三八―一六
電話 〇四八(九五三)二二六六
FAX 〇四八(九五三)五四二一

株式会社井上博商店
代表取締役社長 井上歩美
大阪府大阪市住吉区万代東
電話 〇六(六六九)一一二二五
FAX 〇六(六六九)一一二二七

興和鋳力印刷株式会社
代表取締役社長 池田利恵子
愛知県津島市神守町字中ノ折
電話 〇五六七(二八)五一六六
FAX 〇五六七(二四)四三三七

日東製罐販売株式会社
代表取締役社長 安藤宏行
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九
電話 〇五六四(五)一五六一
FAX 〇五六四(五)一五六三

エイコー株式会社
代表取締役社長 菊井 治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二二)八三七三
FAX 〇四八(九二二)八三七五

株式会社 城北鋳力印刷工業所
代表取締役 竹腰忠臣
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇―一
電話 〇四(七一九)二六一一
FAX 〇四(七一九)二七七九

JFE商事ブリキセンター株式会社
代表取締役 清未浩史
大阪府大東市新田旭町六―一
電話 〇七(二八七)〇九七三二
FAX 〇七(二八七)〇九七三〇

富士メタルプリンティング株式会社
代表取締役 榑原和彦
静岡県島田市中河九八五―四
電話 〇五四七(三八)三八五一
FAX 〇五四七(三八)三八五三

高野興業株式会社
代表取締役 高野康弘
東京都墨田区本所一―二―一三
電話 〇三(三三六)一一一六六
FAX 〇三(三三六)二六二六四

株式会社 M O B Y
代表取締役社長 宮内 太
千葉県市川市塩浜一―一四
電話 〇四七(三〇六)〇二二六
FAX 〇四七(三〇六)〇二四八

株式会社江連金属印刷所
代表取締役 江連 一
千葉県松戸市上本郷八一
電話 〇四七(三三六)〇一三三五
FAX 〇四七(三三六)八七一五

是松鋼商株式会社
代表取締役社長 是松 一郎
大阪府東大阪市楠根二―六一―三
電話 〇六(六七四)二二二六
FAX 〇六(六七四)〇四〇〇

株式会社 愛罐コーポレーション
代表取締役 桑田敬士
東京都渋谷区恵比寿南一―六一―一
電話 〇三(五七二)〇五五一五
FAX 〇三(五七二)〇五五一六

富安株式会社
取締役社長 田川正之
東京都墨田区太平四―五―一五
電話 〇三(五六一)七七七〇
FAX 〇三(五六一)七七七〇

大成ブリキ印刷株式会社
代表取締役社長 中田正和
茨城県稲敷郡河内町長竿
電話 〇二九七(八六二)二二〇一
FAX 〇二九七(八六二)二二〇二

新里機工株式会社
代表取締役 金澤 幸一
埼玉県川口市東領家四―七―一
電話 〇四八(二九二)九〇九七
FAX 〇四八(二九二)九〇九八

三幸商事株式会社
代表取締役社長 武田有広
大阪府大阪市西区北堀江
電話 〇六(六五四)九三三二
FAX 〇六(六五四)三三八八

大貫金属工業株式会社
代表取締役 大貫賢充
東京都葛飾区東新小岩五―一七―二
電話 〇三(三六九)六一七九
FAX 〇三(三六九)六一七九

中村商事株式会社
代表取締役 中村 定
東京都千代田区神田和泉町一―七一
電話 〇三(五六八)七五九一
FAX 〇三(五六八)七六一五

東都金属印刷株式会社
代表取締役 菅谷誠一
千葉県船橋市小野田町一五二―一三
電話 〇四七(四五七)五四六一
FAX 〇四七(四五七)七二三八

株式会社 N・P・W 技研
代表取締役 山本健士
三重県伊勢市佐八町八九四
電話 〇五九六(三九)一一三三三
FAX 〇五九六(三九)一一三六

日東金属工業株式会社
代表取締役 大久保八城
大阪府八尾市太田七―一六
電話 〇七(二九九)六七一一
FAX 〇七(二九九)六七五九



東日本一般缶工業協同組合
CPSM会

平成31年4月11日千葉カントリークラブで第66回CPSM会を開催予定だったが、悪天候のため中止となった。
*次回は令和元年秋に行う予定。

西日本一般缶工業協同組合
缶友会ゴルフ会

令和元年5月9日大阪府の池田カントリー倶楽部で、晴天の下、第152回のゴルフ会を開催した。
上位入賞者は次の通り。

優勝	小西康晴氏 (生野金属)	53	51	33.8	70.2
二位	増田竜介氏 (井上博商店)	41	43	12.8	71.2
三位	佐々木浩司氏 (富安金属印刷)	42	48	18.7	71.3

*次回は令和元年10月に行う予定。



腕前を競い合った皆さん

平成31年2月から
令和元年7月までの行事

東日本一般缶工業協同組合

- 平成31年 2/1 東京都鉄二健康保険組合
- 2/15 事務局長協会「新年交流会」
- 2/19 中小企業大学校連携組織強化習ヒアリング

全日本一般缶工業団体連合会

- 2/26 教育講習会
- 2/27 「販路開拓の進め方」
- 2/27 東京都鉄二健康保険組合
- 2/27 中小企業大学校連携組織強化実習報告会
- 2/27 CPSM会打合せ
- 3/3 富安(株)百周年記念式典
- 3/3 第3回常任理事会
- 3/3 第4回理事会(役員会)
- 3/3 東京中央会
- 3/3 「情報連絡員報告会」
- 3/3 東京都経営支援課
- 3/3 「中小企業支援・施策説明会」
- 3/3 事務局局長協会
- 3/3 「第63回定期総会」
- 3/3 第66回CPSM会(中止)
- 3/3 監事会
- 3/3 第1回流通委員会
- 3/3 第1回理事会(役員会)
- 3/3 組合土協会(役員会)

- 4/4 東京中央会
- 4/4 「役員・評議員合同会議」
- 4/4 組合土協会「第44回通常総会」
- 4/4 第41回通常総会
- 4/4 東京都鉄二健康保険組合
- 4/4 「第69回保健委員会総会」
- 4/4 東京中央会「第67回通常総会」
- 4/4 全国組合土協会連合会
- 4/4 「通常総会・組合土フォーラム2019」
- 4/4 第2回理事会(役員会)
- 4/4 算定基礎届申告説明会
- 4/4 東京都鉄二健康保険組合
- 4/4 東京中央会「金融委員会」
- 4/4 東京都鉄二健康保険組合「理事会」
- 4/4 東京中央会
- 4/4 「役員・評議員合同会議」
- 4/4 東京都鉄二健康保険組合「第122回組合会」
- 4/4 齋藤和宏氏を語る会
- 4/4 (齋藤製罐(株))
- 4/4 東京中央会「団体向け生産性向上普及啓発セミナー」
- 4/4 令和元年度団体情報連絡会

西日本一般缶工業協同組合

- 平成31年 3/3 連合会役員会
- 3/15 役員会
- 3/25 缶友会ゴルフ会
- 5/23 第51期通常総会
- 6/7 合同部会

全日本一般缶工業団体連合会

- 2/7 鉄鋼製品団体協会
- 2/25 「研修会・新年会」
- 2/25 鉄鋼製品団体協会
- 2/25 「日産自動車追浜工場見学会」
- 3/3 第3回理事会(役員会)
- 3/3 第3回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 3/3 帆野製作所 帆野社長と一般缶イノベーションフォーラム打合せ
- 3/3 経済産業省
- 3/3 「金属産業取引適正化ガイドライン改定説明会」
- 3/3 スチール缶連絡協議会
- 4/22 連合会監査
- 4/22 第41回定時総会
- 4/22 第1回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 4/22 第43回全国流通委員会・部会協議会
- 4/22 協賛会
- 4/22 鉄鋼製品団体協会
- 4/22 「第57期通常総会」
- 4/22 経済産業省「食品接触材料管理制度推進に向けた説明会」
- 4/22 「一般缶イノベーションフォーラム2019」
- 4/22 全国十八リットル缶工業組合連合会「第21回フォーラム18」
- 4/22 スチール缶連絡協議会

- 令和元年 8/14 連合会監査
- 8/14 第41回定時総会
- 8/14 第1回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 8/14 第43回全国流通委員会・部会協議会
- 8/14 協賛会
- 8/14 鉄鋼製品団体協会
- 8/14 「第57期通常総会」
- 8/14 経済産業省「食品接触材料管理制度推進に向けた説明会」
- 8/14 「一般缶イノベーションフォーラム2019」
- 8/14 全国十八リットル缶工業組合連合会「第21回フォーラム18」
- 8/14 スチール缶連絡協議会

令和元年8月から
令和2年1月までの行事予定

東日本一般缶工業協同組合

- 令和元年 8/21 東京中央会「団体向け生産性向上普及啓発セミナー」
- 8/21 第3回理事会(役員会)
- 8/21 事務局長協会「都外研修会」
- 8/21 東京中央会「中小企業トップセミナー」
- 8/21 人材育成委員会「羽田クロノリート見学会」
- 8/21 事務局局長協会「職員交歓会」
- 8/21 第66回CPSM会
- 8/21 第4回理事会(役員会)
- 8/21 忘年会

西日本一般缶工業協同組合

- 令和元年 8/2 役員会

全日本一般缶工業団体連合会

- 10/2 4S会
- 11/2 缶友会ゴルフ会
- 11/6 合同部会
- 11/6 役員会

- 令和元年 1/17 三役年開始挨拶回り
- 1/17 第2回理事会(役員会)
- 1/17 第2回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 1/17 新年賀詞交歓会

組合伝言板

- 《代表者交代》
- 《特別賛助会員》
- 日本製鉄(株) 代表取締役社長 橋本英二氏
- JFEスチール(株) 代表取締役社長 北野嘉久氏
- (東日本組合員) 代表取締役社長 久保田 徹氏
- (株)鳥居製缶 代表取締役社長 廣濱庄二郎氏
- (株)ヒロハマ 代表取締役社長 神宮芳次郎氏

《新規加入組合員》

- (東日本組合員) 株式会社MGS 代表取締役社長 廣濱庄二郎氏
- 〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西 1-16-15
- 電話 048(851)5311
- FAX 048(851)5366
- 平成31年4月
- (中部組合) 大和容器(株) 代表取締役社長 齋藤和宏氏
- 〒446-00057 愛知県安城市三河安城東町 1-18-2
- 電話 0556(75)8880
- FAX 0566(75)6233
- 平成31年4月

《脱退組合員》

- (東日本組合員) 富士製缶(株) 代表取締役社長 齋藤和宏氏
- 〒110-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
- 電話 03(5531)6860
- FAX 03(5531)6860
- 平成31年3月31日
- (中部組合) 美栄堂製罐(株) 代表取締役社長 齋藤和宏氏
- 〒510-0001 和歌山県和歌山市 1-1-1
- 電話 073(870)9731
- FAX 073(870)9730
- 平成31年3月31日
- (西日本組合員) 浪速製缶工業(株) 代表取締役社長 齋藤和宏氏
- 〒540-0001 大阪府大阪市東区 1-1-1
- 電話 06(6644)1111
- FAX 06(6644)1112
- 平成31年3月31日
- (西日本組合員) 佐々木商店(株) 代表取締役社長 齋藤和宏氏
- 〒540-0001 大阪府大阪市東区 1-1-1
- 電話 06(6644)1111
- FAX 06(6644)1112
- 平成31年3月31日

- (東日本組合員) (株)鳥居製缶 代表取締役社長 齋藤和宏氏
- 〒141-8260 東京都品川区東五反田 2-18-1
- 電話 03(4531)6860
- FAX 03(4531)6860
- 平成31年3月1日
- (東日本協賛会員) 大樹生命保険(株) 代表取締役社長 齋藤和宏氏
- (旧会社名) 三井生命保険(株)
- 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
- 電話 03(5531)6860
- FAX 03(5531)6860
- 平成31年4月1日
- (東日本組合員) 日鉄物産(株) 代表取締役社長 齋藤和宏氏
- (旧会社名) 日鉄住金物産(株)
- 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
- 電話 03(5531)6860
- FAX 03(5531)6860
- 平成31年4月1日
- (東日本組合員) 日本製鉄(株) 代表取締役社長 齋藤和宏氏
- (旧会社名) 新日鉄住金(株)
- 〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
- 電話 03(5531)6860
- FAX 03(5531)6860
- 平成31年4月1日

《住所変更》

- (東日本組合員) 古茂田工業(株) 代表取締役社長 齋藤和宏氏
- 〒110-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
- 電話 03(5531)6860
- FAX 03(5531)6860
- 平成31年3月18日
- (東日本組合員) 埼玉製缶(株) 代表取締役社長 齋藤和宏氏
- 〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西 1-16-15
- 電話 048(851)5311
- FAX 048(851)5366
- 平成31年5月27日
- (東日本組合員) JFE商事(株) 代表取締役社長 齋藤和宏氏
- 〒574-0003 大阪府大阪市東淀川区 1-1-1
- 電話 072(870)9731
- FAX 072(870)9730
- 平成31年5月

《お悔やみ》

- 令和元年6月20日 齋藤製罐(株)相談役 齋藤和宏様ご逝去

